

近現代韓国朝鮮文学・文化研究 [募集要項]

1. 募集領域

近現代韓国朝鮮文学・文化研究

2. 採用人数

1名

3. 採用職名

教授、准教授、専任講師、講師（テニュアトラック）

*いずれの資格での採用となるかは、研究業績および教育実績に基づく総合的な判断により、内定通知の際に提示します。

4. 勤務形態

常勤

5. 任期

1) 教授、准教授、専任講師として採用の場合：

任期の定めなし（定年は満70歳）

2) 講師（テニュアトラック）として採用の場合：

任期3年とし、2年を超えない範囲での再任用を2度可能とします。

<講師（テニュアトラック）として採用の場合の留意事項>

- ・専任教員（テニュア）への身分変更審査について、3年の任期中となる6セメスター目に中間評価を実施し、1回目の再任用期間中となる10セメスター目に最終審査を実施します。最終審査において合格となった場合、嘱任後11セメスター目に身分変更します。
- ・中間評価において、非常に顕著な業績を上げたと認められた場合は、最終審査をまたずに、7セメスター目に身分変更する場合があります。
- ・身分変更審査で不合格となった場合、1回目の再任用期間終了後、2年を超えない範囲で再度の再任用を認める場合があります。
- ・資格にかかわらず2013年4月1日以降に本学と雇用契約があり、今回の採用日までの間に原則として半年間以上の雇用契約を締結していない期間がない場合は、継続雇用契約期間に上限があります。そのため、契約期間や再任用の有無・期間について、上記に満たない場合があります。また、満70歳に達する年度を超えて契約を更新することはできません。

6. 担当予定科目

本学術院設置の科目

（文化構想学部の科目）

「文芸・ジャーナリズム」の領域に関する文化構想学部の論系ゼミ：

テキスト読解・批評ゼミ4

上記領域に関する文化構想学部の専門演習科目：

現代文芸・文化（近現代韓国朝鮮文学・文化）

上記領域に関する文化構想学部の講義科目：

現代文芸・文化論（近現代韓国朝鮮文学・文化）

（大学院文学研究科の科目）

現代文芸研究指導・演習 12-1、12-2

*上記の科目の他、初年次教育、卒業論文等に関する科目、卒業研究をご担当いただく可能性があります。

*実際の担当科目は、嘱任決定後、本学術院内の所定の会議において決定されます。

7. 職務内容

「6. 担当予定科目」の他、以下の職務に従事する。

- ・個別研究活動や組織的研究活動への参画、その他研究に関する業務
- ・その他学部・研究科が定める大学運営にかかわる諸業務（各種委員の担当、入試等）

8. 待遇

- ・勤務時間 所定労働日および勤務時間（始業・終業時刻、休憩時間）等は、本学規程による。なお、専門業務型裁量労働制（みなし労働時間：1日8時間）を適用し、研究業務の性質上、業務遂行の手段および時間配分の決定等については本人の裁量に委ねるものとする。
- ・給与・諸手当 本学の規程による。
 - *概算本給（月額）（例）：
 - 教授（50歳）約72万円
 - 准教授（40歳）約59万円
 - 専任講師（30歳）約39万円
 - 上記は概算金額です。その他諸手当として賞与や担当コマ数・扶養家族の有無等本人の状況で変動する諸手当があります（概算金額には含まれていません）。本給額や諸手当は今後変更する場合があります。
 - *概算年俸（例）：
 - 講師（テニュアトラック）（30歳）約700万円
 - 上記は概算金額です。その他諸手当として担当コマ数等本人の状況で変動する諸手当があります（概算金額には含まれていません）。年俸額や諸手当は今後変更する場合があります。
- ・通勤費 本学の規程による。
- ・退職金 教授、准教授、専任講師として採用の場合は、本学規程により支給する。講師（テニュアトラック）として採用の場合は支給しない。ただし、引き続き専任教員となった場合、専任教員としての退職金計算における在籍期間は、資格変更前のテニュアトラック教員として嘱任した日から起算する。
- ・休日 土曜日、日曜日、年末年始、国民の祝日、国民の祝日の一部に授業を実施することにより設ける臨時的休業日および大学創立記念日とする。但し、大学があらかじめ授業を実施すると定めた日を除く。
- ・休日の振り替え 業務上やむをえない事情により休日に勤務させる必要が生じた場合、休

日を振り替えることができる。

- ・ 休暇 労働基準法等法令に定められた休暇および、大学が特に定めた日
- ・ 社会保険 厚生年金、健康保険、労災保険、雇用保険に加入する。

9. 就業場所

原則として早稲田大学各キャンパス

10. 採用時期

2027年4月1日

11. 応募資格

- (1) 大学等の教育・研究機関での教職歴を有すること。
- (2) 博士学位の取得者、もしくはそれと同等の学識・業績を有する者。
- (3) 嘱任時に他に本務を持たない者。
- (4) 国籍は問わないが、日本語で教育・研究および大学運営にかかわる諸業務が問題なく遂行できること。

12. 提出書類 ※いずれも PDF 形式に変換してご提出ください。

(1) 「本学術院で教育・研究に従事することを希望する理由を述べた理由書（これまでの研究・教育において、ジェンダー平等の観点やマイノリティ属性を持つ者の視点を意識した実践があれば、それに言及することが望ましい）」 (A4サイズ1頁/1,000字程度)	1通
(2) 「早稲田大学文学学術院教員応募履歴書」 (3) 「教育研究業績」 (以下の URL よりダウンロードし、必ず所定のものをご使用ください。) https://waseda.app.box.com/s/jty7immkt0psy387rrfu0ktak5nlnunz	各 1通
(4) 主要な研究業績	5点 以内
(5) 主要な研究業績（送付区分） (以下よりダウンロードし、必ず所定のものをご使用ください。) https://waseda.box.com/s/7xfqczl4may26g6fdhzthez19xt4wbrm	1通
(6) 「文化構想学部・文学部 講義試案（2種類）」 (以下よりダウンロードし、必ず所定のものをご使用ください。) https://waseda.box.com/s/1xutyahftmdao17lyk23em8zst991253	1通

13. 応募期間および応募方法

応募期間 2026年3月16日（月）～5月15日（金）17時まで（締切厳守）

応募方法 以下の URL より応募してください。

「早稲田大学文学学術院教員公募エントリーフォーム」

<https://forms.office.com/r/bjB2F5LMMc>

*エントリーフォーム送信後、上記の「提出書類」をアップロードする為の URL をご案内し

ます。上記の締切までに「提出書類」のアップロードまで完了する必要がありますので
ご注意ください。

- * 著書等の郵送をご希望の場合は、書留郵便で下記の「15. 著書等送付および問合せ先」ま
で送付してください。封筒のおもてには、必ず「近現代韓国朝鮮文学・文化研究 応募書
類在中」と朱書きしてください。持ち込みは受け付けません。著書等の郵送が必要な場合
も上記の締切までの受付となりますのでご注意ください。
- * 提出書類は原則として返却しません。著書などの返却を希望される場合は、応募の際に、
「必要事項を記載したレターパックプラス」または「宅配便の着払いの用紙（必要事項記
入済み）」を貼った封筒」を同封してください（8月31日までに返却いたします）。同封が
ない場合は返却いたしかねますので、ご注意ください。

14. 選考日程

- (1) 第一次選考：選考結果を2026年6月12日（金）までに応募者に通知します。
- (2) 第二次選考：6月21日（日）（詳細は第一次選考通過者に通知します）

- * エントリーフォームに入力されたメールアドレス宛にご連絡します。
- * 面接等を行う場合、旅費は応募者の自己負担となります。国外居住者の方が第二次選考
の対象となった場合は、過度な負担が発生しないよう、実施方法を調整させていただきます。
- * なお、第一次選考通過者には、応募者本人の教育、研究、社会的活動、人柄等について問
い合わせのできる方2名の氏名・所属・職名・連絡先（電話番号、メールアドレス）を記
載した書面（様式任意。なお、当該照会者への事前許諾については、応募者の判断に一任
する。また、本学術院の専任教員を照会者とすることは出来ない。）を提出していただきま
す。

15. 著書等送付および問合せ先

〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学学術院 人事審査委員会事務局

E-mail: bungaku-koubo@list.waseda.jp

備考

- ・ 早稲田大学は、ダイバーシティ&インクルージョンの実現を推進しています。
教員採用・昇進の人事審査において、性別、障がい、性的指向・性自認、国籍、エスニシティ、
信条、年齢を理由とするいかなる差別も行わないことを申し合わせています。
- ・ 早稲田大学キャンパス内は指定屋外喫煙場所を除き、全面禁煙です。
- ・ 早稲田大学では、ハラスメント防止に関するガイドラインを定めております。公募にあたり必
ず、以下 URL の内容をご確認ください。

<https://www.waseda.jp/inst/harassment/about/guideline>